

王子硬式野球部

創部65年、
多くのプロ野球選手を輩出し、
社会人野球史に残る
数々の栄冠に輝く名門。

1957年、「王子製紙春日井」として創部。米子、苫小牧を統合した後も三工場の伝統を受け継ぎ、東海地区のみならず日本を代表するチームを目標に歩み続ける。「王子」の名を背負い活躍してきた選手たちの中からは、日本を代表するプロ選手も多く輩出。白球を追う野球部員は、グループを内外から盛り上げる象徴的存在であり、これからも全従業員の誇りであり続けるだろう。

沿革

1950年 『王子製紙苫小牧』創部
1957年 『王子製紙春日井』創部
1959年 苫小牧が都市対抗野球に初出場（初戦敗退）
1978年 春日井が日本選手権に初出場（初戦敗退）
1982年 苫小牧が日本選手権に初出場（2回戦敗退）
1983年 『王子製紙米子』創部
1992年 春日井が都市対抗野球に初出場（4強）
1998年 王子製紙米子を統合
2000年 王子製紙苫小牧を統合
2002年 チーム名を『王子製紙』に改称
2004年 都市対抗野球で初優勝
2008年 都市対抗野球で準優勝
2012年 チーム名を『王子』に改称

主な戦歴

都市対抗野球大会：	出場15回、優勝1回（2004年）、準優勝1回（2008年）
社会人野球日本選手権大会：	出場14回、4強2回（2007年、2016年）
JABA北海道大会：	優勝1回（1998年）
JABA静岡大会：	優勝1回（2019年）
JABA富山市長旗争奪富山大会：	優勝1回（2007年）
JABA新潟大会：	優勝1回（1997年）
JABA高山市長旗争奪飛騨高山大会：	優勝1回（2009年）
JABA伊勢大会：	優勝2回（1997年、1998年）

主な出身プロ野球選手

金井 正幸 （投手）	1973年ドラフト外で中日ドラゴンズに入団
高沢秀昭 （外野手）	1979年ドラフト2位でロッテオリオンズ入団
中嶋治彦 （投手）	1988年ドラフト4位で中日ドラゴンズ入団
吉本 亮 （捕手）	1992年ドラフト4位で広島東洋カープに入団
嶋田哲也 （投手）	1990年ドラフト5位で阪神タイガース入団
黒木知宏 （投手）	1994年ドラフト2位で千葉ロッテマリーンズ入団
玉峰伸典 （投手）	1998年ドラフト6位で読売ジャイアンツに入団
上坂 太一郎 （外野手）	1999年ドラフト5位で阪神タイガースに入団

鈴木 貴志 （投手）	2002年ドラフト5位で千葉ロッテマリーンズに入団
木谷 寿巳 （投手）	2005年大学生・社会人ドラフト6位で東北楽天ゴールデンイーグルスに入団
川口 盛外 （投手）	2009年ドラフト6位で広島東洋カープに入団
熊代 聖人 （外野手）	2010年ドラフト6位で埼玉西武ライオンズに入団
山本 翔也 （投手）	2013年ドラフト5位で阪神タイガースに入団
船越 涼太 （捕手）	2015年ドラフト4位で広島東洋カープに入団
西川 龍馬 （内野手）	2015年ドラフト5位で広島東洋カープに入団

王子硬式野球部

祝 辞

元・千葉ロッテマリーンズ

高沢 秀昭 さん

1958年北海道出身・64歳。1977年王子製紙入社。1979年ドラフト2位でロッテオリオンズに入団。1988年首位打者および最多安打、ベストナイン2回、三井ゴールデングラブ賞3回など、1992年の引退までに数々の記録を残す。



150周年おめでとうございます。私はスポーツの世界しか知りませんが、こうして150周年を迎えられたのは、皆様の努力の結果にほかならないと思います。これからも、業界を引っ張っていく存在であることを願っています。

高校を卒業して王子に入りドラフト指名されるまでの約2年半、苫小牧工場に勤務しながら野球をさせてもらいました。施設部に所属しながら半日ほど仕事をして、午後から練習をするスタイルでしたが、当時の北海道は社会人野球のレベルが非常に高く、そういう場所で常に野球に触られたことはとてもありがたかった。王子時代に学んだ自己管理の大切さは、プロになってからも大いに役立ちました。心から感謝しています。

実は61歳のときに専門学校に通い始め、資格を取得して昨年から保育士として働いています。挑むことは本当に楽しい。きっと皆様もこれからもいろいろなことに挑戦できるチャンスがあると思います。勇気を持って、一つ一つの挑戦を積み重ねながら、大きく成長していきましょう。私も王子マンの一人として楽しみにしています。

千葉ロッテマリーンズ（一軍投手コーチ）

黒木 知宏 さん

1973年宮崎県出身・48歳。1992年王子製紙入社。1994年都市対抗野球で本田技研鈴鹿の補強選手として優勝に貢献。同年のドラフト2位で千葉ロッテマリーンズに入団した。「ジョニー」の愛称で親しまれ、プロ11年間で76勝。



王子グループ創業150周年おめでとうございます。王子グループは今や日本国内だけではなく世界の人の暮らしを支える大企業へと成長し人々の生活を支えなくてはならない企業です。私も王子製紙に入社し共に戦ったことを誇りに思います。

王子野球部に入部し3年間、諸先輩方の支えがありプロ野球の世界へ進むことができました。当時はまだ社会を知らぬ若者で大変ご迷惑をおかけしましたが我慢強く人材を育成しようと熱量を持った指導者がいてくれました。プロの世界へ送り出す際、『陽の高い時に堂々と帰省できる大きな選手になるんだぞ!』と、激励をいただきました。このお言葉は今も私の心の中に刻まれてます。

オフになれば恩師のお墓参り、球友との再会に心が和み、新しい年に向かっての活力が湧きます。私の第二の故郷は春日井にあります。王子野球部も名門復活に向かって湯浅監督を中心に日々、汗を掻いています。

私も来年度から千葉ロッテマリーンズ投手コーチに就任します。王子野球部に負けないよう情熱を持って戦います。最後になりますが王子グループの皆様のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

広島東洋カープ

西川 龍馬 さん

1994年大阪府出身・27歳。2013年王子製紙入社。2015年ドラフト5位で広島東洋カープに入団。並外れたバットコントロールで“天才”と称され、2022年シーズンは打率.315を記録。日本を代表するヒットメーカー。



高校を卒業してからプロになるまでの3年間、王子硬式野球部でお世話になりました。短い間でしたが、当初は細かなプレーなどをほとんどわかっていなかったのが、野球の基礎を学ばせていただきました。業務のほうも春日井工場の設備管理課でバリバリやっていましたよ（笑）。

王子時代は背番号「5」だったのですが、すごくいい番号をもらったなあと思っていました。それで、実は2023年シーズンから広島でも「5」番をつけることになって、とてもうれしく感じています。

今、自分に言い聞かせているのは「我慢」ということ。野球は、うまくプレーできたときの喜びは最高ですが、基本的には失敗するのが当たり前のスポーツ。だから、どんなに失敗しても怪我をしても、諦めずに腐らずに、気持ちを切らさないことが大切。その先には必ずいいことがあると信じています。きっと企業が150年続くというのも、同様のところがあるのではないのでしょうか。これからの歴史を作る、皆様のご活躍を心より期待しています。